

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-----------|
| 施設番号 | 66-0686 |
| 施設名 | こころ保育園 |
| 施設所在地 | 多摩市鶴牧5-5 |
| 法人名 | 社会福祉法人純心会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

伝統芸能 南京玉すだれ

<テーマの設定理由>

- ・日本古来の伝統芸能に触れ、興味を持つ。
- ・礼儀作法、あいさつなどを身につけたり、集中力を養い、協力することにより一つひとつマスターしていく喜びを感じ、自信を持つ。

2. 活動スケジュール

4月 あいさつ、座り方、玉すだれの扱い方、持ち方を知る
5月～7月 基本技①（つり竿、唐橋、ご門、看板）口上に合わせてできるようにする
9月～3月 基本技②（阿弥陀如来、天橋立、白帆、国旗、しだれ桜）口上に合わせてできるようにする
3月 発表会 法被を着て、観客の前で演技する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

玉すだれ（子ども用）
玉すだれ修理用糸、ボンド
カセットデッキ、CD、名札
法被

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1 グループ10名のグループで行う。

玉すだれの向きがあることを知り、持ち方や扱い方、技からの戻し方の基本を学ぶ。

9つの技をひとつずつ学んでいく。

今回は前回の復習から始め、次の技を学ぶ。

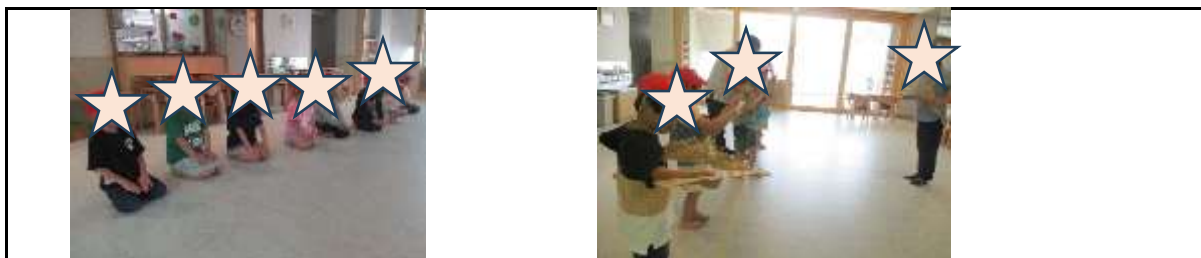
口上に合わせ、リズムに乗って演技する。

始めと終わりにはきちんとあいさつをする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

講師の先生が来る日を楽しみにしていた。

上手く出来なくてすねる姿が見られる子もいたが、保育者や講師の先生の声かけにより、一生懸命取り組むようになり、できた時には笑顔で歓声を上げていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの手の大きさや手先の器用さが求められる面がある。日々の生活の中で0歳児からの手先の発達を促していくことが必要、大切と感じる。

日本の伝統芸能に触れる機会が少ないので、良い時間が持てたと思う。

保育者も一緒に行えるので指導のポイントが学びやすく子どもに声が上手くかけられた。